

C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY  
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039  
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

# THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2015  
ひがし  
7

チャーター 2004年7月25日 No.135

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

第1例会 第1月曜 熊本テルサ(19:00~21:30)

第2例会 第3土曜 ながみねYMCA(17:00~19:00)

国際会長	主題	信念のあるミッション スローガン: 恵みを数えよう Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア会長	主題	愛をもって奉仕をしよう スローガン: まず自分から始めよう Edward K. W. Ong (シンガポール)
西日本区理事	主題	「あなたならできる! きっとできる」一生きる しなやかに さわやかに 遠藤 通寛 (大阪泉北)
九州部部長	主題	「九州から輝くワイズダム」五嶋 義行 (阿蘇)

熊本ひがしクラブ  
第12代会長 田上 裕章 会長主題: 絆 地域との絆 会員間の絆



## 会長引継 田上会長期 スタート

## 入会式 宮本真伸ワイズ



7月 強調月間	「きずな」は、元々は「綱」の意味ですが、綱でがんじがらめにするのではなく、愛と結ばれるには、心が宿らなければなりません。といわれていると思します。綱でしばるのはすぐになりますが、きずなでござりますが、きずなです。この意味に「きずな」によって結ばれなさい。といわれています。心を込めて、ひがしクラブのきずなを確かなものにする年でありたいと願います。(平山美保)	今期、田上会長の主題が「絆」です。以前から知つてはいたことばですが、改めて考えてみました。愛は、すべてのことを出来上がらせるきずなといい、この箇所の前では、「愛を身に着けなさい。」とあります。身に付けるではなく、「愛を着なさい、まといなさい」と。そして、「きずな」は、たち切れがたい気持ち。	コロサイの信徒への手紙 3章14節	今月の聖句
------------	---	---	----------------------	-------

6月例会 出席記録	在籍会員数 27名 例会出席率 85.1%	第1例会 22名 出席総数 41名	第2例会 9名 メネット、コメント 10名	マイカップ 1名
--------------	--------------------------	----------------------	--------------------------	----------

## 会長通信



**絆**

会長 田上 裕章

今期、会長を拝命することになりました田上です。

ながみねファミリーYMC Aの地元である、長嶺で物心ついた時から暮らしています。

ひがしクラブには、吉本敬一ワイズ（スピリットクラブ）に誘われて入りました。これも何かのご縁かとも思いましたし、40歳を前にした時期で、お前何かやれと導かれているような気もしました。

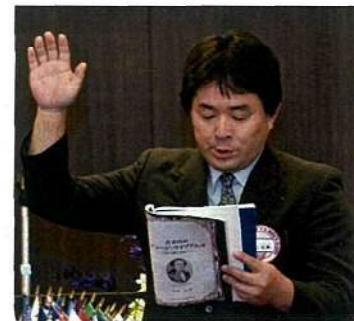
あれから2年半。まさか自分に会長のお鉢が回ってくることになるとは思いもしませんでした。

私は大学時代を大阪で過ごしました。大学三回生の後期試験中、一夜漬けを終え一講目からの試験に備え仮眠を取ろうとした矢先、経験したことのない揺れが襲ってきました。あの阪神大震災を経験し、人生観が変わりました。災害への備えはしておいて損はありません。地元地域とつながる意味でも、防災関連の催しは一つの柱にしていきたいと思います。

私はあまり熱心な会員ではありませんでした。次期会長含みの第一副会長になっていると知った時から出来る限り参加するようにしてきました。活動の大変さも、面白さも少しづかってきました。なかなか活動に出てこられないからと言って、このクラブをやめてほしくありません。たまにしか参加できない方にも居心地のいいクラブ。退会者の少ないクラブを目指したいです。

正直まだ分からぬことだらけですし、パワフルで行動力もある諸先輩方を見るにつけ、これは明らかに自分は力不足だとも思うのですが、自分に出来る範囲で一生懸命やることはお約束いたします。

皆様、何卒ご指導ご協力の程、宜しくお願い致します。



6月例会で会長職務を引き継ぐ

### 活動方針 活動計画

#### ◇主 題 絆 ~地域との絆、会員間の絆~ 無理せず・楽しく・末永く

##### ◇活動方針

- ・ながみねファミリーYMC Aを基点に地元地域との繋がりを強め、地域への浸透を図る
- ・リーダー達の活動を支援し、相互理解を図り将来的なEMCにつなげる
- ・会員間相互の理解を深め、会員にとっても役に立つクラブとなる
- ・会員の経験や技術を活かし、YMC Aの新規事業を支援する
- ・指定管理を行う益城町との交流を図る
- ・退会者を極力少なくできるような居心地良く魅力あるクラブに

##### ◇活動計画

- ・防災フェアを継続開催し、地元大学や病院との連携を強化
- ・ながみね祭りの運営支援協力
- ・キッズサッカー大会への協力。益城ルネサンス熊本の応援
- ・東ティモールへの支援。関連する勉強会の立ち上げ
- ・会員の健康増進のためのプログラム開催
- ・ながみねファミリーYMC Aリーダーとの交流会開催。リーダー独自の活動の支援
- ・ぶどうファンドの推進
- ・ホームページやSNSを立ち上げ、ひがしの活動を発信

# 理事通信

2015年7月号  
7月1日発行



## 主題 「あなたならできる！きっとできる」 “You can do it! Yes, you can!”

—生きる しなやかに さわやかに— 第19代西日本区理事  
— Live flexibly and refreshingly — 遠藤 通寛



みなさま、第19代西日本区理事遠藤通寛です。これから1年間どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。上記の睡蓮、昨年の暮れには1センチにも満たず、浮草の様に水面に浮かんでおりました。つい最近このように咲き始めました。越年させるのには工夫が必要です。ワイズメンズクラブも、最初はこのように小さな芽から、先輩たちが大変な愛情と情熱、英知を絞り現在の形になっています。若い芽を大切に育て次代のワイズの森に育てたいものです。

第18回西日本区大会の理事引継式でお話をさせていただきました。私には1つの夢と2つのお願ひがあります。

1つの夢はロースター内のDBC・IBCの空欄を埋めること。

- お願ひは1. ロールバックマラリア運動をおおいに支援していただきたいこと  
2. 5年目を迎えた東北被災地支援とメネット事業国内プロジェクト推進  
盛岡クラブ、仙台クラブ、仙台青葉城クラブ、仙台広瀬川クラブが行おうとしている被災地での新クラブ設立のための支援です。

夢…DBC・IBC交流では多くの学びと友情の輪が広がります。新しい入会者の皆様にもワイズの醍醐味を体験していただけることと存じます。新しい扉をあけましょう。眺めているだけでは何も起りません。

お願ひ1. ロールバックマラリア運動は現在大変な成果を見せているようです。2000年から2013年の間に死亡率は約47%減少したようです。でもまだ1日約1600人が亡くなっているそうです。乳幼児の死亡率は高く、多産は貧困と女性の学習の機会を奪うこととなるでしょう！皆様、救える命を今、救いましょう！

2. 被災地支援金は仙台YMCA等に於いて大変有意義にお使いいただいております。また、西日本区の各クラブの皆様方の被災地訪問のご様子なども仙台YMCAのホームページ、また現地で聞くことが出来ました。是非今年度も支援をお願いいたします。また、メネット国内プロジェクトの支援先ですが、宮古、石巻での新クラブ設立には大変なご苦労があります。花巻から宮古までの距離は大変なものですが、出張例会をされて宮古のかたと交流されているようです。石巻も商店街の中にある石巻センター（床が傾いております）などにおいて、皆様設立にむけての活動をされているようです。メネットはワイズの応援団ご支援宜しくお願いたします。YMCAと共に皆様と活動できる事に感謝申し上げます。

### 西日本区事業主任 理事キャビネット

Yサ・ユース事業主任 河合久美子（京都ウエスト）  
地域奉仕・環境事業主任 川上孝司（京都パレス）  
EMC事業主任 小野勲紘（西宮）  
国際・交流事業主任 中井信一（奈良）  
メネット事業主任 遠藤典子（大阪泉北）  
理事 遠藤通寛（大阪泉北）  
書記 正野忠之（大阪泉北）  
会計 飯沼 真（大阪泉北）  
事務局長 山田理学（大阪泉北）

### 7月強調月間 EMC-MC

Y's Men's Windows 100 (→2022) ワールドへようこそ！

EMC事業主任 小野勲紘（西宮）

ワイズメンズクラブは、2022年に100周年を迎えます。2022年には、100クラブ+2022名を達成して、100の窓から2022の顔を出して世界にアピールしたい。そのため、EMCはCMEの順に進めていきましょう。

C（Conservation意識高揚）を第一に、充実して満足感（CS）の高い例会に、全員が個々の役割を果たして、多くの仲間をお招きしましょう。1年間を通してお一人がお一人のゲスト・ビジターを例会にお招きしましょう。そして、ビギナーズ・ブルーに寄り添う“お声掛け”もお忘れなく！（居場所作りは有効期間・賞味期間の3年以内に早めにお召し上がり下さい。支障があればお取替えしますのでご連絡下さい。わたしたちがお手伝いいたします。）

## 第18回 西日本区大会報告

山が移り、丘が揺らぐこともある。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らずわたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはないとあなたを憐れむ主は言われる。

イザヤ書54章10節

### ■バナーセレモニー

1日目、西日本区全クラブの会長によるバナーセレモニーが、にぎやかに行われました。九州部は西日本区のしんがり、亀浦部長を先頭に、クラブ名、会長名をコールされて壇上に上がります。九州部の後半は、熊本地区のクラブが続いて登場するので、どのクラブにも大きな拍手をいただきました。



ブ、メネット事業優秀賞などを受賞。クラブの皆さんとの活動と協力に感謝する1年です。

写真は、理事特別表彰を受ける亀浦九州部部長です。4月に益城運動公園で開催した、オールY M C Aデイの働きが特に認められ、「九州部」が受賞。事実上の最優秀ワイスメンです。

また八代クラブが、Y M C Aサービス・夏のデイキャンプを長年にわたり開催してきたことで、優秀クラブ賞を受賞しました。

来年は田上会長を壇上に上げよう！とみんなで話し、来年への期待を胸に、拍手を送りました。

6月13日（土）～14日（日）、ハイアットリージェンシー大阪で、第18回西日本区大会が開催されました。ひがしクラブから、横田、宮崎、岩本、平山、大澤メネット、菅メネットが参加し、全体で700余名が集いました。

大会テーマは、～明日につなぐ澤標～『交・響・楽』。松本理事期の総決算となる区大会です。交流し、笑顔と声が響き合い、多くを楽しんできました。（直前会長 横田博）

### ■懇親会

1日目は理事挨拶、部長報告、講演は桂吉弥の落語等と続き、午後6時30分懇親会の開宴です。

ワイスメンもメンバーの

一人であるカントリーミュージックグループのオープニングで会場がにぎやかさで包まれます。

心の底から待ちかねた「乾杯」のご発声は、西日本区直前理事・高瀬稔彦ワイス。「ワイスの友情に」との呼びかけに、全員で「乾杯！」。ドリンクでのどを潤し、フレンチに舌鼓。

新しい出会いを楽しみ、旧交を暖めました。



### ■DBC交流 京都めいぷるクラブ

ひがしクラブの国内兄弟クラブ・京都めいぷるクラブとの交流も、区大会の楽しみの一つです。

1日目の夜、大阪市内に出かけ、昨年6月の岩国大会以来の再会を喜び、また「乾杯」。

5月に菅ファームで植えた、めいぷるクラブのぶどう苗をとても喜んでおられます。再来年秋の収穫が楽しみだと。アンカー打ちの苦労話も披露しました。

松村ワイスによると、今期はひがしクラブが京都を訪問する年だそうです。「京都でお待ちしています」と招かれて、次回を楽しみにしつつお別れ。





## メネットコーナー

### 皆さんと力を合わせて

メネット会長 田上かな子

このたびメネット会長を拝命いたしました、田上かな子です。

とはいって、仕事や育児の関係もあり、ワイズメンズクラブの活動には二、三度しか参加出来ておりませんで、メネット会長をということには大変悩みましたが、お受けしてもお受けしなくてもご迷惑になるかもしれないと思い、この度お受けいたしました。

特に第一例会にはなかなか参加できないことが多いと思いますが、皆様のご指導ご協力を頂けますと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



りませんで、メネット会長をということには大変悩みましたが、お受けしてもお受けしなくてもご迷惑になるかもしれないと思い、この度お受けいたしました。

### 2015-2016 メネット事業

#### 国内プロジェクトについて

東日本大震災も4年目を迎えることになり、これまでに各クラブに於いて様々なご支援、活動がありました。今期メネット事業としてはメンと共に出来る事を考え、東日本区北東部3クラブ（仙台クラブ、青葉城クラブ、広瀬川クラブ）ともりおかクラブの支援をさせていただくことになりました。

この4クラブのメン、メネットの皆様は、これまでに被災者と支援者（ワイズメン）の架け橋となって【被災地支援活動】及び【被災地訪問交流会プログラム】に力を注いでおられます。勿論メンバーの中にも、被災されながら活動をされてる方もおられます。この活動にたいしてささげます。今期メネット事業主査として活動していきます。皆様のご支援よろしくお願ひします。

（九州部メネット事業主査 大澤玲子）

### 第18回 西日本区メネットアワー

2015年6月13日（土）ATC 6階コンベンションホール（大阪）にて、メネットアワーが開催されました。参加者は103名、40クラブのメン・メネットの方々でした。

今期のメネット国内プロジェクトは「希少難病の理解と研究活動への支援」ということで、東海大学医学部佐藤ユニット・佐藤健人准教授による「希少難病問題」についての講演がありました。2009年5月、中岡亜希さんを東海大学医学部に招いて講演して貰ったのが始まりでした。先生自身も中学時代、原因不明の眼の病気で2ヶ月間の休学、2年間の体育禁止という経験をされました。将来は病気で苦しむ人の手助けをしたいと基礎医学を目指し、現在に至っておられます。

患者さんは“肉体の苦しみ”“社会的な苦しみ”“薬もない苦しみ”を抱え不安な日々を暮しておられます。「希少難病」研究の難しさは、情報がない、研究材料が得られないなど問題は様々ですが、IPS細胞の発見により、色々な事が解明され薬の開発が進歩しているようです。未来の子ども・孫たちのためにも“見捨てられた患者に希望を与える活動”をこれからも

継続して行きたいと話されました。“病気だから不幸だとはいえない”と言われた最後の言葉が心に残りました。

メネットアワーで約150万円（5/25現在）メネット支援金を贈呈しました。今後の研究に生かして、難病で苦しむ人々を一人でも多く救って頂きたいと願っています。（メネット 菅美代子）



東海大学医学部・佐藤准教授

#### メネット事業優秀賞

2014-2015年度において、メンもコメットも共に活動してきたことをみとめられ、メネット事業優秀賞を受賞しました。

横田メネット会長、お疲れ様。ありがとうございました。



熊本から参加したメネット

## 「YMCA・ワイズの源流」の学び！ 24

### ヴォーリズ W. M. (William Merrell Vories)

1880 (明治13) 年10月28日～1964 (昭和39) 年5月7日

近江兄弟社の創立者。近江八幡YMCAの創立者。

アメリカ、カンザス州レヴァンワースにジョンの長男として生まれる。ヴォーリズ建築事務所、株式会社近江兄弟社、財団法人近江兄弟社、ヴォーリズ記念病院、学校法人兄弟社学園などを創設。コロラド大学に在学中、キリスト教青年会(YMCA)活動に関心を持ち、1902年カナダのトロントで開かれた学生宣教義勇軍の大会に出席、外国伝道に献身を決意。



1905 (明治38) 年ニューヨークの国際YMCAおよび東京YMCAの斡旋で滋賀県立商業学校の英語教師となり、2月2日近江八幡に着任。近江兄弟社はこの日をもって創立記念日としている。放課後に聖書研究などを行い、YMCA活動を始める。

1907年2月、八幡基督教青年会館を設立したが、町民の反対にあい3月学校を解雇された。教え子数名と共にYMCA活動を推進、京都YMCAの一室にヴォーリズ建築事務所を開き、彼が関わった建築としては関西学院、同志社大学、神戸女学院、各地のYMCA会館、キリスト教会、病院、住宅などは2000有余に及ぶ。

1918 (大正7) 年、近江療養院(ヴォーリズ記念病院)を開設。翌年一柳末徳の3女・一柳満喜子と結婚。1920年、米国の友人・ハイド A. Aの協力による薬品(メンソレータム)の販売権を得て大きな成功を収め、近江セールス株式会社(現・近江兄弟社)を設立。近代ミッション(近江基督教慈善教化財団、現・財団法人近江兄弟社)の在的基礎を固めた。

妻・満喜子により幼稚園が開園され、その後小学校、中学校、高等学校へと発展し、今日の学校法人近江兄弟社学園となった。本来の願いであった伝道事業は近江八幡を中心に展開し、能登川、安土、水口、今津、近江野田、堅田の地に教会を設立していった。

太平洋戦争が勃発する1941年、日本国籍を取得し、夫人の姓をとって一柳米来留(ひとつやなぎめれる)と名乗る。1942年、時勢を避け軽井沢に移り、東京大学英文学講師ともなった。終戦後、近江八幡に戻り、財団法人理事長、株式会社会長に就任。近衛文麿の要請でマッカーサーに会い、天皇の立場を説いた。

1957年くも膜下出血で倒れ、7年間の闘病生活後、84歳で召天。近江八幡市から名誉市民第一号が贈られた。「湖畔の聖者」と呼ばれた。『湖畔声』に「失敗者の自叙伝」(1951～57)を掲載している。※「日本YMCA人物辞典」、「日本キリスト教歴史大事典」などを参照させていただきました。

(文・企画 歌野清三)

### 6月第一例会報告

横田会長の「嵐の一年」を振り返る活動報告が行われ、活動の幅広さと充実した結果は、ひがしクラブ会員が一丸なって取り組まれてきた活動の力強さを感じました。横田会長から田上次期会長へ会長引継式が行われ、また新たな体制によりひがしクラブのクラブ運営の方向性概略が示されました。

また仲間が加わりました。宮崎ワイズがスポンサーで、宮本真伸氏が新たなメンバーとして入会しました。今後クラブでの活躍を期待しています。

熊本YMCA来期常議員に、ひがしクラブより4名のメンバーが選出されました、大きな力です。4ワイズの活躍が期待されますが、我々の代表が十分な力を發揮して頂くよう、協力と後押しが必要になります。よろしくお願ひします。

ながみねファミリーYMCAのスタッフ・リーダー、東部YMCAから留学生3名と山本先生もご参加になり、横田会長期の総決算となつた例会でした。

(報告 門永充弘)





## YMCA通信

連絡主事 中村賢次郎

### 【津森小学校 みんな泳げる25m運動】

命を守る活動として、YMCAでは泳げない子どもたちの支援のため「みんな泳げる25m運動」を行っています。この活動は、泳げるようになることで自分の身を守ることを学ぶことと、できるという経験を通して自分に自信を持ち、学校生活も楽しく過ごして欲しいという願いが込められています。

津森小学校では特に過去の悲しい事故もあり、私たちとしても力が入る活動です。今年多くの子どもたちが安全で楽しい夏を送って欲しいと思います。



### 【ネパール大地震 支援募金活動】

4月末に起きたネパール大地震で被災した人々、そして熊本YMCA日本語科に通う16名の学生のご家族の支援のため、募金活動を行っています。5月には上通にて街頭募金を行い、多くの尊い募金を頂きました。また6月には各YMCAでの募金活動と、企業交流会を通して支援を続けました。

直接、留学生の家族の話を聞く機会もあり、私たちが家族として、また友だちとして今後も継続的に支援をしていきたいと思います。



### 【らっこクラス 花の日プログラム】

6月第2日曜の花の日は、キリスト教の行事の一つで、花も人も神様から与えられ、守られ、愛されて育ってきたことを感謝する日として、YMCAでは日ごろお世話になっている方々に花のプレゼントをしています。

2歳児らっこクラスの園児たちは、日赤病院を訪問し、先生や看護師さん、患者さんに、歌とダンス、そして花のプレゼントをしました。子どもたちの発表に多くの見学者が楽しそうに応援してくれました。笑顔と感謝に包まれたすばらしい時間を過ごすことができました。



第28回 ながみね祭  
☆9月19日(土)

皆様今年もよろしくお願いします。

## よく生きる

## 「傾聴」について

歌野 清三

最近、千葉在住の医師三島修一先生と出会いがあり、医療現場で「傾聴」をとても大切にされているお話を聞きしました。

「傾聴力」とか「傾聴ボランティア」ということばがよく目につきますが、先生からいただいた資料を読ませていただき、私たちのワイズの活動においてもこの「傾聴」は真剣に取り組む必要があるのではないかと考えました。

「聞く」や「訊く」と違って、相手の言葉にじっくり耳を傾けようとする姿勢が「聴く」ということです。「聴」の字源には「耳」「目」「心」が含まれているそうです。

「耳できく」～相手の言葉によるメッセージに最後まで耳を傾け、理解する。

「目できく」～相手の言葉以外の行動（姿勢、表情、しぐさ、声の調子など）に注意を払う。

「心できく」～相手の言葉の背後にある感情も受け止め、共感を示す

この三つが具体的なポイントであると解説されています。受け身にならずに相手の話に相づちを打ったり、質問をしたり、ときには自分の考えも交えながら相手の話したいことを引き出す姿勢が社会人として必要な「傾聴力」ではないでしょうか。

三島先生は、目線の高さが相手と同じか、もしくは低くし、私でよければ、是非聴かせて欲しいという姿勢が大切な要素であると訴えておられます。私たちも少しでも「聴き上手」をめざして、心したいものだと考えます。

ハッピーバースディ&アニバーサリ

7月バースデイ

8日 岩本 芳久 29日 平山 美保  
30日 野田 和彦 10日 三池 史子  
13日 野田 和美 16日 塙谷さおり

7月アニバーサリ

24日 中村賢次郎&陽子



## キックオフ例会

- 九州部部長公式訪問 -

7月6日(月) 19:00~21:30	熊本テルサ
司会	白木 尚登
開会宣言・点鐘	会長 田上 裕章
ワイズソング「いざたて」	全員
ワイズメンズクラブ目的唱和	全員
会長挨拶	会長 田上 裕章
ゲスト・ビジター紹介	
九州部活動方針発表	九州部部長 五嶋 義行
熊本Y.M.C.A.総主事挨拶	総主事 岡 成也
卓話「キックオフによせて」	菅 正康
食前感謝	宮崎 隆二
乾 杯	岩本 芳久
ひがしクラブ会長活動方針発表、役員・委員長紹介	
ハッピーバースディ・アニバーサリ	諸報告
なごりはつきねど	
閉会宣言・点鐘	会長 田上 裕章

## 7月の予定

7月5日(日)九州部評議会・EMCシポジウム  
 7月5日(日)九州部懇親会 17:00 ホテル日航  
 7月6日(月)ひがしクラブキックオフ例会  
 7月8日(水)熊本連絡会議&YY交流懇談会  
     19:00 東部YMCA  
 7月18日(土)ひがしクラブ第二例会  
     17:00 ながみねFYMCA  
 8月例会 サントリーレストラン・喜島で調整中

第二例会

6月 20 日 (土) 17:00 ~ 19:00 記録・馬場淑之  
ながみね YMCA

出席者：田上、岩本ル・メ、宮崎、門永、白木  
平山ル・メ、横田メ、東、中村、馬場

1. 7月第一例会（キックオフ例会） 今年は各クラブにて  
キックオフ例会を行う。それにより、7月5日（日）は  
九州部懇親会。当クラブのキックオフ例会を7月6日  
(月) 会場は熊本テルサで19時から。

2. 東ティモールに関する勉強会の件 歌野ワイズの知り  
合いの方で、小国署に東ティモールへ行かれた経験のある  
方がいらっしゃるので、その経験談を聞く機会を作る。

3. 防災イベントに関して (3月の防災フェアとは別に、  
県立大学と連携で10月か11月に開催の案)  
①阿蘇キャンプを施設を利用して、日帰りりか1泊で。  
対象者は子ども。  
②子ども防災隊の第二弾のような感じで、別の場所で。  
③県立大学の明石ゼミの学生にプログラムを作る。  
中村館長が明石先生と調整する。

4. 8月第一例会について 嘉島町のサントリー工場で開催  
する案を承認。日程など田上会長が調整。

5. EMCについて 1人一人、どなたか探すよう心がけ  
る。継続的に行っていく。

その他・諸報告

①SOやオールYMCAディのような行事を継続させる必  
要がある。益城と御船町の施設を多いに利用する。ワイ  
ズをPRしていくことによりEMCもやり易くなる。  
②プリテンの計画、メンバー一人一人に光を当てる。  
③RKKのニュースで『25mみんな泳げる教室』放送。  
④ながみね駐車場側に、自治会からの依頼により七夕飾付。  
ながみね祭実行委員会 7月15日(水)。